

すぎなみ自民

区議団通信



杉並区議会本会議場にて会派所属議員(15名)



令和元年5月20日に第一回臨時会が行われ、区議会議員の改選後はじめての正副議長の選挙の結果、第79代議長に井口かづ子議員が選出されました。

幹事長挨拶

本年4月に執行された杉並区議会議員選挙では皆様より温かいご支援を賜りました。

改選を経て、私たち「杉並区議会自由民主党」は自民党籍を持つ議員14名と無所属議員1名で構成する、杉並区議会で所属議員が最も多い「最大会派」として、再スタートを致しました。ご支援を頂きました皆様の想いに、日々の活動でお応えさせて頂くべく、「一人ひとりがその信念を強く抱き歩んで参る所存です」。

近年、社会状況が目まぐるしく変化を遂げています。少子高齢社会・人口減少社会や首都直下型地震への対応に加え、本年10月に予定される消費増税に向けた態勢づくり、その他にも9月に開催される「ラグビー・ワールドカップ」や、来年に迫る「東京オリンピック・パラリンピック」を捉えた施策の展開等、まさに今、私たち杉並区は正念場を迎えています。

そこで、私たちはまさに区議会の「要」となつて区政の原動力となるべく、会派所属議員が各々その想いを胸に日々、各地域の団体等と膝を突き合わせて活動をしています。——草の根こそが私たちの原点——。先の参議院選挙でもお訴えをさせて頂きましたが、私たちの強みは国と都、そして区が一本の線で繋がりが、いづいかなる時も強固な連携を取れることにあります。

—— 私たちの子や孫の世代に誇れる杉並——となるよう私たちは全力で取り組んで参ります。これからもご指導宜しくお願いいたします。



第二回定例会の概要報告

第二回定例会は令和元年5月30日に開会し、6月18日までの20日間の会期で開催されました。

令和元年度杉並区一般会計補正予算(第1号)では通学路防犯カメラ約300台の増設費用などが計上されました。子供はもちろん区民の方々にとっても安全・安心な地域社会づくりを推進していきます。そのほかにも杉並区特別区税条例の一部を改正する条例、杉並区介護保険条例の一部を改正する条例、杉並区立就学前教育支援センター条例、など27議案の審議を行い、すべて原案通り可決されました。

一般質問は、我が会派からは、大熊昌巳(2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた区の施策とその進捗状況・中学校の部活動の改善策について、浅井くにお(善福寺川の洪水対策・西武新宿線の連続立体交差化・防災減災対策供などについて、今井ひろし(第9次地方分権一括法・保育についてなど)、松浦威明(教育・介護・財政・町会について)、矢口やすゆき(商店街の活性化支援について、わたなべ友貴(防災対策・荻窪駅周辺のまちづくりについて)の6名が行い、地域や区政について活発な質疑が行われました。



第一回臨時会 正副議長選挙風景